

富山県立石動高等学校 シラバス

科目名	日本史B	単位数	3	学科	普通科	学年	2
使用教科書	詳説日本史(山川出版社)		副教材等	・新詳日本史(浜島書店) ・詳説日本史 改訂版 10分間テスト(山河出版社) ・新日本史研究ノート〔応用編〕(啓隆舎)			
科目の内容と到達目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。						
学 習 計 画 等							
学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い ・ 目 標				備考(学習活動の特記事項・副教材使用等)
1	4	第I部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 1. 文化の始まり 2. 農耕社会の成立 3. 古墳とヤマト政権	1-1* 人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。* 打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、竪穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気付く。 1-2* 集落・墓の変容から富の蓄積を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連付けて考察する。 1-3地域的首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。* ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。* 古墳時代後期～終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。				・新詳日本史 ・10分間テスト ・新日本史研究ノート
	5	第2章 律令国家の形成 1. 飛鳥の朝廷 2. 律令国家への道 3. 平城京の時代 4. 天平文化 5. 平安王朝の形成	2-1* ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。 2-2律令国家が成立するまでの政治の動向と白鳳文化の形成過程について考察する。* 律令に基づく国内統治体制について理解する。 2-3律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。* 平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察する。 2-4* 天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。 2-5平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。* 東アジアとの関係を踏まえて、唐風文化である弘仁・貞観文化を理解する。				
	6						
	7	第3章 貴族政治と国風文化 1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の展開と武士	3-1* 藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察させる 3-2* 大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として国風文化が展開されたことを理解する。 3-3* 律令制に基づく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。* 地方の反乱と鎮圧など、武士の成長と進出過程について、源氏などを例にとりて考察する。				
2	9	第II部 中世 第4章 中世社会の成立 1. 院政と平氏の台頭 2. 鎌倉幕府の成立 3. 武士の社会 4. 蒙古襲来と幕府の衰退 5. 鎌倉文化	4-1* 院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。* 政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。 4-2* 鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 4-3* 承久の乱に伴う公武関係の変化に着目して、將軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を考察する。* 武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察する。 4-4蒙古襲来による政治・経済・文化への影響が幕府の衰退につながっていくことを理解する。 4-5* 庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。				・新詳日本史 ・10分間テスト ・新日本史研究ノート
	10						
	11	第5章 武家社会の成長 1. 室町幕府の成立 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 3. 室町文化 4. 戦国大名の登場	5-1* 南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。* 琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。 5-2* 庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。* 諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。 5-3* 武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化及び大陸文化と伝統文化のかかわりについて理解する。* 庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とした文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。 5-4* 応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連付けて考察する。				
	12						
3	1	第III部 近世 第6章 幕藩体制の確立 1. 織豊政権 2. 桃山文化 3. 幕藩体制の成立 4. 幕藩社会の構造	6-1* 大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。* 織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について考察する。 6-2* 新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。 6-3* 江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を考察する。* 江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではなく、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。 6-4* 幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。				・新詳日本史 ・10分間テスト ・新日本史研究ノート
	2	第7章 幕藩体制の展開 1. 幕政の安定 2. 経済の発展 3. 元禄文化	7-1* 17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 7-2* 幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。 7-3* 経済の発展と関連して町人文化が形成された事について、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。				
	3	第8章 幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革 2. 宝暦・天明期の文化 3. 幕府の衰退と近代への道 4. 化政文化	8-1* 農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義とその影響を考察する。 8-2* 江戸中期に確立した洋学や国学、新たな形で展開する文学・芸能・美術について、社会の変容に伴う幕藩体制の動揺と関連付けて考察する。 8-3* 欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を考察する。* 近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、雄藩の浮上という地方からの視点から考察する。 8-4* 化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。				
提出物・課題等		・授業ノート ・詳説日本史 改訂版 10分間テスト ・新日本史研究ノート〔応用編〕					
評価方法		各学期の考査評価・課題への取り組み状況・授業態度などの総合評価					